

KG-84A をシスコ シリアル インターフェイスに接続する方法

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ケーブル](#)

[赤ケーブル](#)

[黒ケーブル](#)

[KG84A/Avanti の動作可能な構成](#)

[関連情報](#)

概要

この文書では、KG-84A ケーブルを、Codex LSI 24/24 や Avanti 2200 シリーズの同期モデムを使用して、Sun のシリアル ポートや、シスコのゲートウェイに接続するための設定情報について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

この文書の情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- KG-84A ケーブル
- Avanti 2200 シリーズ同期モデム

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

ケーブル

このセクションでは、Codex モデムを使用して、KG-84A をシスコまたは Sun のシリアル ポートに接続するために必要なケーブルについて説明します。シスコのポートは同期接続で、Sun のポートは非同期接続です。

赤ケーブル

RS 232 側		KG 側 (赤色の J3 コネクタ) メス型	
ピン	[名前(Name)]		ピン番号
1	フレームグラウンド		0
0	TD	--->	17
3	RD	<---	6
4	RTS	--->	11
5	CTS	<---	19
6	DSR	<---	51
7	シグナルグラウンド		1 + 9 + 18 + 46
8	DCD	<---	40
20	DTR	--->	38
次の 2 つは、同期ケーブルの場合に必要です (KG からシスコ)			
15	Tx Clk		15
17	Rx Clk		20

注 :

- KG-84A では、多数の信号に対して、差動入力を使用しています。KG コネクタでは、ピン 9、18、および 46 は、ピン 1 に結線する必要があります (上を参照)。ピン 9、18、および 46 は、ある信号の (使用されていない) 他方の側になります。また、KG 側ではピン 7、22、41、または 53 には接続しないでください。これらは、差動増幅器の出力であり、オープンサーキットのままにしておく必要があります。
- KG と Sun シリアルポートとの間の非同期リンクの場合は、15-15 と 17-20 の接続を行わないでください。

黒ケーブル

RS 232 側		KG 側 (黒色の J2 コネクタ) メス型	
ピン	[名前(Name)]		ピン番号
1	フレームグラウンド		0
0	TD	<---	15
3	RD	--->	13
4	RTS	<---	29
5	CTS	--->	27
6	DSR	--->	51

7	シグナル ラウンド		1+12+28+35+53+22+20+30+18
8	DCD	--->	34
20	DTR	<---	17
同期処理のためのクロック :			
15	Tx Clk	--->	21
17	Rx Clk	--->	19
24	Ext TC	<---	32

KG84A/Avanti の動作可能な構成

このセクションでは、KG-84A と Avanti モデムを接続して同期リンクを形成する場合における、動作可能なケーブルと構成について要約して説明します。この構成とケーブルは、次の図に従って 2 つの Sun のシリアル ポートを接続したときに動作することが実証されています。次に示すリンク情報は、同期回線用のものです。

Sun <==> KG-84A <==> Avanti Modem <==> Avanti Modem <==> KG-84A <==> Sun

RS-232C		赤色側、KG-84A	
1			0
Tx の後に引き継ぐ	0		17
Rx	3		6
RTS	4		11
CTS	5		19
DSR	6		51
Gnd	7		1-9-18-46
DCD	8		40
TxC	15		15
RxC	17		20
DTR	20		38

RS-232C		赤色側、KG-84A	
1			0
Tx の後に引き継ぐ	0		15
Rx	3		13
RTS	4		29
CTS	5		27
DSR	6		51
Gnd	7		1-12-20
DCD	8		34
RxC	17		19
DTR	20		17
	24		32

KG-84A の前面パネルの設定は、次のようになります (スイッチ設定を解読するには、KG84A の

マニュアルか、装置の全面パネルの内側を参照してください)。

パラメータ	設定値
clock	1 - 片側2 - 反対側
データモード	0
データレート、Rx	B4 (適切な値に変更)
データレート、Tx	B4 (適切な値に変更)
パルスインターバルのステップ	1、+0
Intfc (インターフェイス)	1
同期モード	5
Ttyモード	1
データ長	Sync (適切な値に変更)
Commモード	1

Avanti モデムには、キャビネット内に一連のディップスイッチがあります。各オプションの詳細については、モデムのマニュアルを参照してください。これらのオプションの一部は、同期リンクを正しく動作させるために不可欠です。個人のニーズに合わせて他のニーズを変更することもできます。これらのスイッチは次のように設定します。

最大300のアクセスポイントグループ	設定値
S5	HDオン (RTS設定ではない)
S6	CC Int TC
S7	2 (KG と Sun の設定に速度を合わせる)
S8	電力レベル= -30 kb (スイッチ6、異なる設定が可能)、CTS遅延= 0 (スイッチ4)
S9	MED.範囲 (他のアプリケーションでは異なる場合があります) 低4W
イコライザ ジャンパ: イン	

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)